

平成31年4月17日

就職活動中の高専生の皆様へ

### 国立大学法人・国立高等専門学校機構施設系技術職員の採用案内について

施設系技術職員として必要なスキル（建築・土木系、電気系、機械系学科）を学び、2019年度に就職活動を行う高専生の皆様へ、国立大学法人・国立高等専門学校機構（以下「国立大学等」という。）の施設系技術職員の採用案内をさせていただきます。

国立大学等の施設は、創造性豊かな人材育成、独創的・先端的な学術研究、社会貢献の推進など国立大学等の使命を果たすための基盤であり、その施設の整備充実を図っていくことは、我が国の教育研究の更なる発展に欠かすことのできないものです。

これらの施設の整備充実のための具体的な企画、設計・監理、維持管理等の業務は、国立大学等に勤務する施設系技術職員約2千人が担当しています。

そのうち、高専卒業生約170人（うち女性職員約30人）が在籍しており、各機関においてその技術力と人間力を高く評価されています。

現在では、多くの卒業生が、各機関の施設系幹部職員として活躍されていることから、優秀な後輩（高専生）を採用したいとの声があるところであり、高専生の施設系技術職員として活躍が期待されています。

本案内は、国立大学等のリーフレット及び先輩からの就職体験談です。国立大学等の施設系技術職員を知ってもらうための案内となっていますので、就職先として国立大学等の施設系技術職員に関心を持ち、国立大学法人等職員採用試験を受験されることを期待しています。

#### 案内事項

- |  |        |
|--|--------|
| 1 国立大学法人等施設系技術職員仕事紹介ガイド（リーフレット）            | P 1～ 4 |
| 2 施設系技術職員の先輩からの就職体験談（メッセージ）                |        |
| 1) 国立高専への就職について（齋藤 禎美、石川高専建築学科卒業）          | P 5～ 6 |
| 2) 国立高等専門学校機構への就職について（西 博文、福井高専機械工学科卒業）    | P 7～ 8 |
| 3) 国立高等専門学校機構への就職について（青山 寛之、鹿児島高専土木工学科卒業）  | P 9～10 |
| 4) 国立高等専門学校機構への就職について（和田亜希子、米子高専建築学科卒業）    | P11～12 |
| 5) 国立高等専門学校機構への就職について（植田 祐司、香川高専制御情報工学科卒業） | P13～14 |
| 3 高専機構の施設系技術職員が携わった工事例                     |        |
| －東京工業高専コラボレーション・コモンズ新築工事－                  | P15    |
| 4 「建築」を通じて日本の“未来”をつくる                      |        |
| －文部科学省施設系技術職員のご案内－（リーフレット）                 | P16～17 |



国立大学法人等のキャンパスを創造する

# 施設系技術職員

仕事紹介ガイド 2019



# 国立大学法人等とは

文部科学省所管の国立大学法人，大学共同利用機関法人，独立行政法人国立高等専門学校機構 等

## 国立大学法人

- 全国に86ある国立大学が，それぞれ独立した法人格を持って運営されています。

## 大学共同利用機関法人

- 先端的な共同研究を行う中核的研究拠点として，人間文化研究機構，自然科学研究機構，高エネルギー加速器研究機構，情報・システム研究機構の4つの機構が設置されています。

## 独立行政法人 国立高等専門学校機構等

- 独立行政法人国立高等専門学校機構は，全国に51ある国立の高等専門学校で構成されています。その他，22の機構が学校教育，社会教育，科学技術等の事業を実施しています。

## 施設系 技術職員とは

国立大学法人等の様々な施設（校舎，研究実験棟，病院，図書館，体育館など）やインフラの**企画，計画，設計，工事監理，維持管理などの業務**を通じて組織の運営に関わっています。主な職員採用試験区分では，「建築」，「電気」，「機械」，「土木」となります。

### 建築



### 電気



### 機械



### 土木



## ～施設系業務の三本柱～

### 企画・計画，設計・工事監理

- キャンパスの中長期計画の策定
- キャンパス整備に関する各種委員会等の運営
- 施設整備事業の計画・設計・実施
- 都市計画，キャンパス計画に係る地域との連携
- 工事の入札・契約の実施
- 工事コスト，品質等の管理
- 建築・土木・設備に関する技術的事項への対応 等

### 維持管理等

- 施設の点検・評価及び資産価値の維持・向上
- スペースの有効活用
- 長期修繕実施計画の策定
- 施設の保守点検・運転監視・修繕
- 屋外空間や緑地の管理等に関する技術的事項への対応
- 施設・環境・インフラ維持保全・美化の実施
- 宿舍施設の管理運営 等

### 省エネ，環境・安全

- 温暖化・省エネルギー対策の実施
- インフラ整備の企画立案
- 交通対策，屋外環境整備及び廃棄物処理の実施
- 環境安全衛生管理活動の企画立案・把握・指導等
- 防火・防災に関すること 等



# イノベーション創出、グローバル人材の育成、地方創生を担う 「知の拠点」をつくり・まもる

～様々な施設の、中長期計画から維持管理 までを行います～



キャンパス・施設の企画から完成までは数年。  
完成後は、機能的で良好な状態に維持向上させていくことが  
**施設系技術職員のミッション**です。

## 先輩職員の声



福島大学施設課 電気担当主事  
金子 翔也 (H29年度採用)

私は、電気設備に関する設計・工事監理・維持管理等を行っております。日頃大学構内では、電源コンセントの増設や照明のLED化による省電力化など様々なニーズに応じた企画立案が求められます。限られた予算内での工事施工では、豊富な知識や違った視点からのアイデアが必要とされるため、一つ一つの業務経験を身に付けていくことが大切だと考えております。適切な設備を提供することで、学生の方々はもちろん、学内の教職員の方々のサポートを行っている実感できることにやりがいを感じます。



九州大学施設部 第一施設計画係員  
吉儀 武志 (H28年度採用)

私は建築分野を担当しています。設計から工事の積算、現場監理まで業務内容は幅広く、業務で得た経験や知識を活かし一級建築士の資格を取得しました。設計図では判断がつかず現場で判断して決める事もありますが、自分の思いが形になっていくことや、仕事を通じて成長できる環境も魅力だと思います。

## キャリアパス、資格、研修

係員

主任

係長

課長補佐

課長

部長

### 資格取得

- 建築士
- 技術士
- 電気主任技術者
- 建築設備士
- エネルギー管理士
- 施工管理技士 など

### 研修制度

- 新規職員研修
- 係長研修
- 中堅職員研修
- 幹部職員研修
- 技術職員研修
- 語学研修、会計研修 など

職員の取得資格、能力、勤務評価等により上位ポストに昇進していきます。

職名、職階は各法人で異なります。

採用後に、諸事情によって他の国立大学法人等に異動を希望する方については、法人間で調整を図る仕組みがあります。

# ～キャンパスづくりから施設整備・マネジメントの実施まで～

## キャンパスづくりの在り方とは※

- 既存キャンパスの長所を生かしていくことを前提に、知恵とアイデアを集め、大学の機能強化や個性・特色の伸長につながるキャンパスに再生するとして「創造的再生」がキャンパスづくりの基本的考え方として示されています。

※「キャンパスの創造的再生～社会に開かれた個性輝く大学キャンパスを目指して～」報告書（概要）より  
文部科学省 平成25年3月 国立大学等のキャンパス整備の在り方に関する検討会

## 施設マネジメントの実施

- 「施設マネジメント」とは、管理する施設・設備について、総合的かつ長期的視点に立ち、教育研究を支援するための取り組みです。近年は、建物の長寿命化の計画策定や、スペースの有効活用に関する取り組みが重要となっています。



### 国立大学等の保有する施設等

校舎、研究実験棟、研究所、図書館、附属病院、附属学校、食堂・保育施設など福利厚生施設、体育館など様々な施設、及び広場や街路等を保有しています。

- 国立大学法人等の建物の保有面積は、約2800万㎡であり、東京ドーム約600個分、東京ディズニーランド約35個分にあたります。
- 施設整備にかかる年間の予算規模は数千億円、維持管理費は数百億円に上ります。

施設系技術職員はこれらの施設等の企画・設計・工事監理・維持管理など全てに関わります

## 施設系技術職員の採用について

### 国立大学法人等職員統一採用試験

職員の採用方法は国立大学法人等が合同で実施する試験を通じて採用を行っています。

試験は、各地区別で行っています。

詳しくは、各地区採用試験事務室ホームページをご覧ください。下記へ電話、メール等でお問い合わせください。

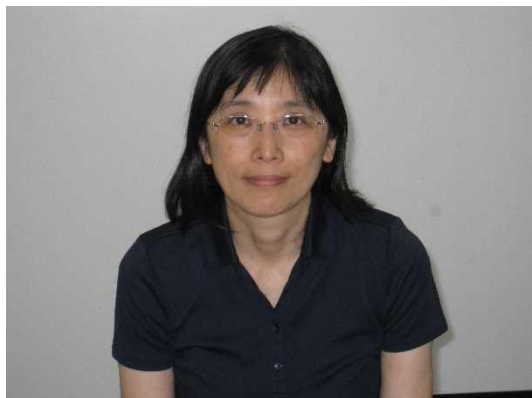
施設系技術職員  
の主な試験区分

試験区分	
事務系	事務
	図書
技術系	電気
	機械
	土木
	建築
	化学
	物理
	電子・情報
	資源工学
	農学
	林学
生物・生命科学	

各地区	電話	メール
北海道地区実施委員会	011-706-2019	saiyo@general.hokudai.ac.jp
東北地区実施委員会	022-217-5676	shiken@grp.tohoku.ac.jp
関東甲信越地区実施委員会	03-5841-2769	shikenjimu.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp
東海・北陸地区実施委員会	052-788-6053	shikenjimu@adm.nagoya-u.ac.jp
近畿地区実施委員会	075-753-2230	shiken@mail.adm.kyoto-u.ac.jp
中国・四国実施委員会	082-424-5616	shikenjimu@office.hiroshima-u.ac.jp
九州地区事務・技術系職員等人事委員会	092-802-2340	shikenjimu@jimu.kyushu-u.ac.jp



## 国立高専への就職について



### 略 歴

- ・国立石川高専 建築学科 卒業
- ・国立明石高専 施設系技術職員 採用
- ・文部科学省 転任（異動）
- ・国立大学法人筑波大学施設部長

### ○自己紹介

皆様、こんにちは、

齋 藤 禎 美（さいとう よしみ）と申します。

私は、現在、国立大学法人筑波大学施設部長を勤めています。

本日は、私の後輩となる皆様へ、施設系技術職員としての仕事の魅力と国立高専に採用され、働き始めた頃のことをお伝えしたいと思います。

### ○国立石川高専卒業

私は、学生時代、一生、職業を続けていきたいとの思いから、技術を身につけられる、国立石川高専建築学科で学びました。

当時は、女性が高専や大学を出ても、結婚や出産で、職業人生を継続することは難しいと考えられていた時代でした。

女性の仕事は「お茶くみ」や結婚までの「腰掛け」と言われて、男性の補助的な業務がほとんどでした。

民間企業への就職を考えていましたが、引く手あまたの男子学生と対照的に、私を受け入れてくれる職場はなく、公務員になるしかないと当時は考えていました。

### ○国立明石高専採用

幸いなことに、在学中に、国家公務員試験に合格し、卒業後に、同じ国立高専の明石高専に施設系技術職員として採用になりました。

職場の女性職員の中には、結婚、出産を経て、働き続けている方が複数いて、大いに励まされました。また、職場を明るくする気遣いや、思いやり、仕事への姿勢などをこれらの尊敬する先輩たちから学びました。

新人の頃は、上司から指導を受けながら、日常的に学校施設の維持管理、修繕発注業務などに取り組みつつ、工事契約、国有財産管理や宿舍管理業務なども担当しました。

契約などの仕事は通常は事務系職員の仕事でしたが、このときは新人の私に仕事が回ってきたのです。これがその後のキャリアで管理職となったときにとっても役立ちました。

この経験から、自分の得意な仕事でなくても、まずは取り組んでみる、または、関

係する仕事に関心を持ち続けることが、いつか自分を助けることになります。これから職業人生を始める皆様に、心に留めておいていただきたいことです。

また、新增築の工事に携わることもでき、当時の文部科学省の技術系職員の方々から様々なご指導、ご教示をいただきました。高専内にとどまらない、人的な広がりがこの職場の魅力でもありました。このことが、後に文部科学省に転任することになるきっかけともなりました。

仕事上の失敗も多くしましたが、上司や先輩、同僚が、その時々フォローしてくださり、なんとかやり遂げることができました。

明石高専には、約6年在籍しましたが、厳しい中にも家族的な優しさのある雰囲気の中、明石高専で過ごすことができたことは幸いでした。

## ○キャリアパス

採用後のキャリアパスについて、私のキャリアは、国立高専、国立大学、文部科学省などに在籍し、一貫して施設系技術職員として、係員、主任、係長、課長補佐、課長職を歴任し、現在は、部長の職についています。

現在も採用後に、諸事情によって他の国立大学法人等に異動を希望する方については、法人間で調整を図る仕組みがあります。

今後、皆様が、どの職場に採用・異動されても、周りの人達と協力して、様々な仕事を経験する中で、次のステップを切り開いて行くことができます。

## ○仕事・やりがい

独立行政法人国立高等専門学校機構は、東京八王子に本部事務局と全国51の国立高専で構成され、高専施設全体の保有面積は約170万㎡で、東京大学とほぼ同じ規模の施設を保有し、予算規模も大きく、その整備充実と維持管理などの業務を、全国の施設系技術職員約140人で進めています。

国立高専の施設は、我が国の将来を担う高度な技術者を養成するための基盤となるものであり、その整備充実を図っていくことは、我が国の未来を拓き、我が国を成長・発展へと導くもので、非常にやりがいのある仕事です。

## ○メッセージ

最後に

平成28年6月に、国立高等専門学校機構は、「国立高専機構施設整備5か年計画」を理事長決定し、整備目標の1つに「理工系女性人材の育成」を掲げ、増え続ける女子学生・留学生の受入に対応する女子寮の整備などを進めます。

現在の国立高専は、女子学生、女子教職員にも配慮した職場環境整備にも取り組み、働きやすい環境となっていると聞いております。

是非とも皆様に、我々施設系技術職員の仲間になっていただき、一緒に仕事ができる日が来ることを楽しみにしています。



# 国立高等専門学校機構への就職について



## 略 歴

- ・国立福井高専 機械工学科 卒業
- ・京都大学 施設系技術職員 採用
- ・文部科学省 転任（異動）
- ・独立行政法人国立高等専門学校機構 本部事務局施設課長
- ・国立大学法人横浜国立大学施設部長

## ○自己紹介

皆様、こんにちは、

西 博文（にし ひろふみ）と申します。

私は、現在、国立大学法人横浜国立大学施設部長を勤めています

私は、学生時代、国立福井高専機械工学科で学びました。卒業後は、施設系技術職員として、国立大学、文部科学省でキャリアを積み、平成30年3月まで、母校（国立福井高専）を含む全国51高専55キャンパスの教育研究を進める上で、必要となる施設整備に関し、主に予算・企画を担当する課長として、働いておりました。

本日は、私の後輩となる皆様へ、国立高等専門学校機構の組織と、そこで働く施設系技術職員としての仕事の魅力等をお伝えしたいと思います。

## ○独立行政法人国立高等専門学校機構の組織と仕事の魅力

まず最初に、独立行政法人国立高等専門学校機構の施設系技術職員の組織は、東京八王子（本部事務局）にある予算・企画を担当する施設課と整備を担当する整備課、全国51高専55のキャンパスにある施設係で構成されています。

55キャンパスの高専施設の総保有面積は約170万㎡で、東京大学とほぼ同じ規模の施設を保有し、予算規模も大きく、その整備充実と維持管理などの業務を、全国の施設系技術職員計約140人で実施しております。

このように、独立行政法人国立高等専門学校機構は、どの国立大学法人よりも大きな組織規模であり、しかも全国に展開しているため、施設系技術職員は全国に働く場所があります。

国立高専の施設系技術職員が担当する高専施設は、国立高専の使命である実践的・創造的技術者の育成を果たすための基盤であり、我が国の将来を担う人材育成に欠かせないものであります。

また、推計値ですが全国51の国立高専で人材育成された高専卒業生の約4割は、地方で活躍していることから、その人材育成の基盤を支える我々施設系技術職員の仕事は、地方創生にも貢献していると言って良いでしょう。

私は、国立高専OBとして、我が国の将来を担う国立高専に在学する約52,000人の後輩のために、人材育成の基盤となる施設整備（具体的には、キャンパスの長期計画や、予算・事業の計画、設計・監理、保全管理、省エネ、環境・安全など）の施設全般に関する業務を、担当させていただいたことは、この上ない喜びと、誇りを感じています。

## ○キャリアパス

皆様の採用後のキャリアパスについて、私の場合は、国立高等専門学校機構、国立大学、文部科学省などに在籍させていただき施設系技術職員として、係員、主任、係長、課長、部長の役職を経験させていただいております。

現在も採用後に、諸事情によって他の国立大学法人等に異動を希望する方については、法人間で調整を図る仕組みがあります。

我々施設系技術職員の仕事は、異動して多くの職場で、多種の業務を経験することが、技術者として職業人として、飛躍する条件だと考えております。ようは、人事異動と技術者として職業人としてのキャリアアップは、表裏一体です。

先ほども説明したとおり、独立行政法人国立高等専門学校機構の施設系技術職員は、全国に展開する一番大きな組織規模であり、全国に働く場所があり、皆様のやる気と努力次第で、技術者として職業人としてキャリアアップする機会があります。

## ○メッセージ

最後に、平成28年6月に、国立高等専門学校機構は、「国立高専機構施設整備5か年計画」を理事長決定し、3つの計画目標を定めております。

1つ目が、新たな高専教育システムに必要な学習環境整備を推進する

「機能強化等変化への対応」、

2つ目が、増え続ける女子学生の受入に対応し、女子寮を整備する

「理工系女性人材の育成」、

3つ目が、優秀な留学生・外国人教員を受け入れるための環境整備を推進する

「国際化への対応」

を掲げ、具体的な整備目標として、この5か年で、約33万㎡の建物整備と約111kmのライフラインの老朽改善など、所要経費として約650億円を必要とし、戦略的に整備を進めることとしています。

国立高専の使命を果たす基盤となる施設の整備充実するための計画も仕事もキャリアアップする機会もあります。何より、我が国の将来を担う学生のために、学校の基盤をつくるやりがいのある仕事です。

是非とも皆様に、我々施設系技術職員の仲間になっていただき、一緒に仕事ができる日が来ることを楽しみにしています。

# 国立高等専門学校機構への就職について



## 略 歴

- ・国立鹿児島高専 土木工学科 卒業
- ・国立鹿児島高専 施設系技術職員 採用
- ・文部科学省 転任（異動）
- ・独立行政法人国立高等専門学校機構 本部事務局施設課 施設企画係長
- ・文部科学省 高等教育局 私学部 私学助成課 助成第二係長

## ○自己紹介

皆様こんにちは。

青山 寛之（あおやま ひろゆき）と申します。

私は、現在、文部科学省高等教育局私学部私学助成課助成第二係長に勤めています。本日は、私の後輩となる皆様へ、施設系技術職員としての仕事の魅力を、これまでの自らの経験を踏まえ、お伝えしたいと思います。

私は、国立鹿児島高専の土木工学科を卒業し、ゼネコンに就職しました。そこで、工事の現場監督など経験し、その後、母校である鹿児島高専に施設系技術職員として採用となりました。

## ○鹿児島高専での経験

鹿児島高専では、建物の水漏れ補修工事といった小さな工事から、建物全体を改修する大きな工事について、限りある予算の中でどの工事を優先的に行っていくべきかといった企画立案とその学内調整、学校として考えた計画を実現するための設計に関する業者との打ち合わせ、そして、工事契約業務、工事業者との調整といった一連の業務について、上司・先輩の指導のもとで携わらせていただきました。

特に、当時、印象深かった業務としては、予算要求と工事管理です。ニュースの単語としてしか聞くことのなかった概算要求に関するものです。建物を新たに建てたり、全面改修したりするためには、数億円の経費が必要となるため、国に対して概算要求を行うこととなります。その中では、単に古いから新しくしたいのですといった単純なものではなく、なぜ、その建物が必要なのか、その整備を行うと教育や研究の面でどのような効果が期待できるのかということを説明する資料を作成することが必要となります。このため、学内の先生方と膝を詰めて調整し、それを計画として形にしていったことが印象に強く残っています。

また、工事管理の業務について、今となっては当たり前と感じますが、当時は建物が図面のとおり出来上がっていくのを見て感動したことを覚えています。

国立高専は全国にあり大規模な組織である一方、各学校単位の組織としてみれば技術系施設職員の役割が非常に大きく、施設に関わるあらゆる業務に携わることが出来ます。私も就職したての最初の数年の間に、幅広い業務に関われたことは、大きな財産であったと感じております。

## ○文科省での経験

その後、行政の立場からも業務を経験したいとの希望がかなえられ、文部科学省に異動させていただきました。そこでは、行政の立場から、国立大学や公立小中学校の施設整備に係る事例集の作成や、工事の契約に関するルールづくりなどに携わらせていただきました。施設整備そのものではなく、全国における学校施設の水準向上の一助となる業務に携わることができたこともまた貴重な経験であったと感じております。

## ○メッセージ

最後に、

高専機構の魅力を一つ御紹介させていただきます。高専機構は、北は北海道、南は沖縄まで全国に 51 校 55 キャンパスを持つ大きな組織です。希望してタイミングが合えば、色んな地域で働くことが可能です。

是非とも皆様に、我々施設系技術職員の仲間になっていただき、一緒に仕事ができる日が来ることを楽しみにしています。





## 国立高等専門学校機構への就職について

### 略 歴

- ・国立米子高専 建築学科 卒業
- ・(独) 国立高等専門学校機構 津山高専施設系技術職員 採用
- ・(独) 国立高等専門学校機構 本部事務局施設部整備課建築係長

### ○自己紹介

皆様、こんにちは、

私は、独立行政法人国立高等専門学校機構 本部事務局施設部整備課建築係長の和田 亜希子（わだ あきこ）と申します。

私は、国立米子高専建築学科で学生時代を過ごし、卒業後は設計事務所での勤務を経て、津山高専に施設系技術職員として採用となりました。

本日は、施設系技術職員としての仕事の内容とやりがいについて、お伝えしたいと思います。

### ○津山高専での経験

私が就職したころの津山高専は、図書館の全面改修を控え設計を行っている真最中で、米子高専在学中に学んだことや、設計事務所での経験を元に図面や積算内容をチェックすることから始まりました。これまでの図面を作成する業務（受注者）から逆の立場（発注者）での職務となり、また学内との調整に想像以上の気を使うなど、当初は大変に苦労したことを思い出します。

設計業務が終盤に差し掛かると、次は工事入札・契約事務が始まりました。これは発注者側として関わるのは全く経験が無く、法律や規則を勉強し、上司に教わりながら携わりました。

その後、工事が始まり、現場監理業務を担当しました。施設系技術職員は機械・電気・建築・土木の分野がありますが、各高専に全分野のメンバーが揃うことはほぼ無く、専門外の分野の現場監理等についても行う事となります。高専機構には、各校の不足する技術担当を支援する仕組みがあり、担当課より技術支援を受けながら現場との調整の日々は、大変やりがいを感じながらも、力不足を痛感しました。

これらの業務と並行して、学内の修繕及び保全点検や、整備計画の作成等の業務も行いました。具体的には、日常的にガラスが割れた、風呂の湯が出ない等の即対応する修繕から、工事予算を確保すべく、国や機構本部に要求書を提出するための整備計画作成にいたるまでの、幅広い業務です。

このような経験をさせていただく中で、多くの出会いもありました。津山高専のある中・四国地方の各校施設系技術職員と研修等で顔を合わせる機会もあり、普段からお互いの業務の相談が出来るような仲間にも恵まれました。また、高専の学生行事へ学生に混ざって参加することもあり、球技大会や学園祭など、一生懸命で楽しそうな学生の様子を見ると、日本の将来を担う学生の教育研究基盤である学校施設をより良くしたいという意欲が湧いたものです。

## ○機構本部で求められていると感じること

現在私は、機構本部事務局整備課建築係において、先の話で出てきた技術支援を行う側の業務に携わっています。

上記のとおり力不足を感じて以降、より技術面で研鑽を積みみたいと希望していたなかでの異動となり、私にとってはまたとないチャンスが巡ってきたと感じました。

整備課の現在の業務は、西日本エリアの高専及び東京高専の抱える、主に国から予算を交付された工事の設計及び工事監理に対する技術支援です。

各地の高専に出向いての業務も多いため、各学校の事情を直接見聞きし、高専機構全体として要求事項採択数向上の一翼を担えるようになりたいと思っています。

また、高専機構として掲げている『国立高専機構施設整備5か年計画』の中で、「理工系女性人材の育成への対応」をうたっており、増加する理工系女子学生のロールモデルとなりうる人材が求められていると感じます。機構本部及び各地の施設係でも、活躍される女性は年々増加しており、私を含め施設系技術職員として職務に当たる女性は、本年1月現在17名となり、登用面で男性との差を感じることはありません。

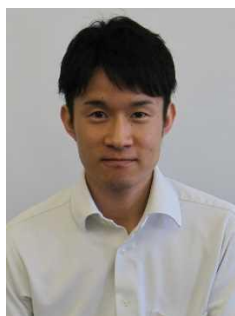
## ○メッセージ

施設系技術職員という少々限られた職種ではありますが、上司の方々には様々な部署で活躍なさってきたスペシャリストが肩を並べ、周囲を見渡せば同じ道を邁進する同志が日本中にたくさんいます。

技術的な職務について主に述べてきましたが、事務的な仕事を主とする部署もあり、多様な業務に携わることになります。

是非とも皆様が、我々施設系技術職員の仲間になってくださり、一緒に仕事をできる日が来ることを期待しております。

## 国立高等専門学校機構への就職について



### 略 歴

- ・国立香川高専 制御情報工学科 卒業
- ・国立香川高専 施設系技術職員 採用
- ・独立行政法人国立高等専門学校機構 本部事務局  
施設課施設企画係員
- ・独立行政法人国立高等専門学校機構 本部事務局  
施設部整備課電気係員

### ○自己紹介

皆様、こんにちは、

私は、独立行政法人国立高等専門学校機構 本部事務局施設部整備課電気係員の植田 祐司（うえた ゆうじ）と申します。

私は、学生時代、国立香川高専制御情報工学科で学びました。卒業後は、母校である国立香川高専に施設系技術職員として採用となりました。

本日は、私の後輩となる皆様へ、施設系技術職員としての仕事の魅力と、やりがいについて、お伝えしたいと思います。

### ○香川高専での経験

私が最初に配属された香川高専施設課電気係は、西日本にある国立高専28キャンパスの施設整備に携わることができる係でした。毎年、国に予算要求を行う概算要求に向けて、各高専の施設担当者と要求内容を検討し、整備計画等を立案していきます。実際に予算要求がとおり、予算が付くと、実際の工事に向けて設計・積算を行っていきます。電気係として、建築係、設備係と協力しながら予算の調整から設計図の作成をしました。設計・積算が終わると、これをもとに工事を発注し、完成までの現場監理業務を担当しました。新営（新築）工事や改修工事など様々な現場を経験する機会に恵まれました。

次に配属された香川高専施設課施設係では、香川高専のキャンパス内の施設整備全般を行う係でした。ここでは、日々学生が学び・生活するキャンパスや寮を維持管理していくための工事発注や、よりよくするための整備計画などに携わりました。

これらの業務を行っていく中で、文部科学省との対応や、全国の高専との対応が必要な機構本部としての業務に対する興味が出てきました。

### ○機構本部での経験

機構本部としての業務を経験したいとの希望がかない、施設企画係へ異動させていただきました。機構本部では、各高専から毎月提出される報告をもとに、工事の進捗状況や予算の執行状況を取りまとめ、文部科学省に報告する業務や、工事の完了後に実績を報告する業務に携わりました。また、香川高専ではあまり見る機会がなかった、東日本の施設整備についても計画内容などを検討する機会を得ることができました。

文部科学省との直接の対応ができる貴重な経験を得ることもできました。

生活面では、職員宿舎が完備されており、私自身地方から来たのですが不安はありませんでした。また、職場の先輩方や同僚、後輩には地方出身の方も多く、仕事以外にも趣味を通じて人のつながりを広げることができました。

### ○仕事の魅力とやりがい

施設系技術職員と一言で言っても、分野は多岐にわたります。自分の考え方次第で、様々な経験をする事ができるということが一番の魅力かもしれません。企画・立案、予算要求、設計・積算、工事発注、現場監理など事務的な内容から建物を実際に建てる現場対応まで実に様々な仕事があります。

香川高専では、予算要求など事務的なものから、内部改修など実際の現場対応まで様々な経験をする事ができました。中でも、部活で使用している場所のフェンス扉が壊れた際に修理をすると、学生から「ありがとうございます。」と感謝されたことがあり、大変うれしかったのを覚えています。今でも、仕事で苦しいことがあったり、困難なことがあったりしたときには、思い出して、何のために仕事をしているのかを考え、本当に学生のためになるのかを考えるようにしています。

機構本部では、文部科学省と直接対応することで、根拠をより深く考えることができます。なぜ、この仕事が必要なのか、なぜ、こうするのかを毎回考えるようになります。予算要求をして、より多くの予算を確保できたときには、こうした考えが正しかったのだと思え、やりがいを感じます。

### ○メッセージ

最後に、高専機構で働く意義を伝えたいと思います。高専機構は、将来の我が国を担う高度な技術者を養成する使命を持っています。その施設の整備充実を、私たち施設系技術者が担っています。私たちの行った仕事が、未来の技術者を育てていく力になります。

未来の技術者を育む施設に、皆様の力でイノベーションを起こしませんか！



# 高専機構の施設系技術職員が携わった工事例

## ～東京工業高専コラボレーション・commons新築工事～

### コラボレーション・commons 施設概要

東京高専の新校舎「コラボレーション・commons」は、東京高専が高専教育改革の一環として取り組んでいる「社会実装教育」の場となるとともに、更なる地域連携や産学官連携の強化をめざす「コラボレーション：協同」を実践する場となります。

新校舎は、既存の「専攻科・総合教育棟」に隣接する3階建。新しい発想と柔軟な運営で、これからの高専教育を実践する場として活用してまいります。

基本設計	東京工業高等専門学校総務課施設係
実施設計	建築 (株)黒川紀章建築都市設計事務所 (構造:(株)織本構造設計)
設備	(株)婦木建築設備事務所
建築	(株)小松原工務店
電気	清水電設(株)
機械	(株)フジ企画
工期	平成29年9月～平成30年5月
構造・階数	鉄筋コンクリート造3階建
建築面積	317.78㎡、延床面積 897.05㎡



北側外観



新校舎は既存棟と一体となって機能します



南側外観



配置図



# 多様な活躍のフィールド

(独)日本スポーツ振興センター  
新国立競技場設置本部施設部施設企画課  
課長 廣田 貢  
(H13 国家公務員 I 種(現総合職)建築)

子供達の未来を創造する仕事がしたいと思い、文部科学省を選びました。

入省後は文教施設企画部で学校施設のガイドラインや国立大学等の整備戦略づくりなど建築に関わる仕事を手がける一方、岡山県教育委員会に生涯学習課長として出向したり、学校教育の担当として教員の負担軽減やコミュニティ・スクールの法改正を手がけるなど、未知の領域にもチャレンジしてきました。今は2020年オリパラ大会に向けて、新国立競技場の建設プロジェクトに関わっています。

活躍のフィールドは多様です。だからこそ、建築という狭い枠にとらわれない柔軟な創造力と、新しいチャレンジを楽しむ意識を大切にしたいと思っています。



文教施設企画部 施設助成課  
課長補佐 益居 綾  
(H16 国家公務員 I 種(現総合職)建築)

社会にある様々な課題を解決する仕組みづくりを担う国の仕事に魅力を感じ、国家公務員を志望しました。文部科学省を選んだのは、教育、文化、スポーツと身近で幅広い分野の業務に携われること、官庁訪問を通じて肌で感じた職場の雰囲気から「ここで働きたい」という気持ちが固まっていたことが決め手になりました。

入省してからは、文教施設企画部においてハード面から教育環境の充実に取り組むほか、外務省では文化を通じた国際交流の推進に、文化庁では文化・芸術の振興に、放送大学学園では遠隔教育におけるICT活用やBSデジタル放送への参入に向けた検討などに携わりました。

現在は、全国の子供たちがより豊かな環境で学習できるよう、学校施設の整備や環境改善を行う地方公共団体への支援に取り組んでいます。



文教施設企画部 施設企画課防災推進室  
専門官(併)防災調整係長 田中 佳幹  
(H22 国家公務員 I 種(現総合職)建築)

新しい価値をつくっていきける仕事をしたい!と考え、国家公務員を志望しました。文部科学省は、建築の世界だけにとらわれず、私たちの生活の根幹にある幅広い分野に関わる環境にあることが魅力に感じました。

入省後、文教施設関係の業務と科学技術・研究開発関係の業務が半々くらいでしたが、東日本大震災からの復旧・復興などへの支援、原発事故関係の対応、研究開発機関の組織見直しなど、現場の課題やニーズなどを把握し、状況の改善やプロジェクトの進展のために、物事を進める方法を個々のケースごとに考える仕事が多かったです。また、国土交通省に出向し、建築基準法令の改正にも携わりました。

現在は文部科学省の災害対応の総括業務をしています。新たな課題に取り組む中で、自分自身が日々試される職場だと感じています。



文教施設企画部 参事官(技術担当)付  
整備企画係員 和田 有未  
(H27 国家公務員一般職 建築)

学生時代、建築構造学が専攻で、安全な建物づくりに興味があり、建物単体だけでなくもっと大きな視点で安全・安心の在り方を考えたいと思い、文教施設の整備をしている文部科学省の施設系職員を志望しました。

1年目は大学経営に求められる施設戦略について、2年目は部内の連絡調整、いわばコーディネーターのような業務、3年目の今は、国立の文教施設などの建設計画、設計、積算、工事監理に関する業務に携わっています。まだまだ知らないことばかりで、上司や先輩に助けていただきながら、勉強!勉強!の毎日です。

文部科学省で働く魅力は、建築という自らの専門性を軸にしながら、教育・科学技術・文化・スポーツの幅広い分野に対し、ソフト・ハード両面から携われることだと思っています。技術力を武器に文部科学行政に携わってみませんか?

(H30.4月時点)

## お問合せ先

文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部 施設企画課総務係

電話 03-5253-4111 (内線2523) メール sisetu-somu@mext.go.jp

●文教施設企画・防災部のパンフレット  
[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/01\\_i.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/01_i.htm)

●文部科学省全体のパンフレット  
入省案内 <http://www.mext.go.jp/booklet/1294825.htm>  
業務概要 [http://www.mext.go.jp/b\\_menu/soshiki2/pamphlet/1377223.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/soshiki2/pamphlet/1377223.htm)

●国家公務員採用試験については、人事院又は文部科学省HPをご覧ください。



## 「建築」を通じて 日本の“未来”をつくる

— 文部科学省 施設系職員のご案内 —



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,  
CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



# 学校建築で日本の未来を築く

学校施設は、創造性豊かな人材を育成する教育活動や、独創的・先端的な学術研究を行う上で欠くことのできない基盤であるとともに、地域コミュニティの拠点として重要な機能を果たしています。そのため、耐震化など防災機能の確保はもちろんのこと、社会の変化を踏まえ多様化・高度化する教育内容への対応や、世界レベルの研究活動に取り組むことができる、良好な環境を整備することが求められます。

文部科学省 文教施設企画・防災部では、このような学校施設が、子供達の成長を支える場として、また知的創造活動を支えイノベーションを生み出す拠点として、適切に維持され必要な機能の向上が図られるよう、各学校のニーズや政府全体の動向を踏まえた今後の学校施設の在り方の提示や、事例集やガイドラインの作成、施設整備費の補助などにより、学校設置者である地方公共団体や国立大学法人等が行う施設環境整備の取組を支援・促進しています。

天然資源の少ない我が国において、活力ある未来を築くために最も必要なことは、未来を創る「イノベーション」と、それを生み出す「人材の育成」です。そのため、新しい時代にふさわしい教育研究環境の形を常に模索し、実現に向けて取り組む必要があります。

文部科学省の施設系職員は、学校施設の整備・環境改善を通じ、我が国の教育・科学技術の発展を支え、ひいては日本の未来の創造に貢献しています。

## 日本の未来の創造

### 教育・科学技術・文化・スポーツの発展

#### 未来を拓く学校施設の整備

##### 公立学校施設



耐震化・防災機能強化



老朽化対策の推進等



キャンパスの創造的再生

##### 国立大学施設



卓越した教育研究拠点の形成

#### 文部科学省 文教施設企画・防災部

##### 学校施設整備に関し

- 今後の方向性の提示
- ガイドラインやグッドプラクティスの提示
- 整備にかかる費用の補助



#### 未来を拓く文化・スポーツ関係施設の整備

- 文化施設やスポーツ施設の整備など国立文教施設づくりの技術的支援



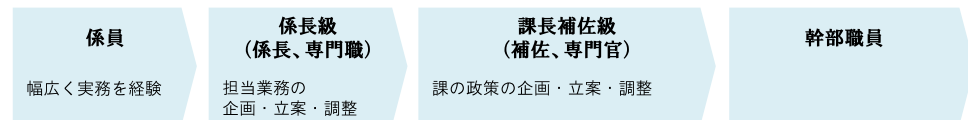
# 文部科学省の施設系職員

文部科学省における施設系の行政職（総合職、一般職）についてご紹介します。

## 総合職 ～文部科学行政に幅広く精通しながら、建築の専門性を持ったジェネラリスト～

教育・科学技術・文化・スポーツと幅広い文部科学行政に精通しながら、建築の専門性を持ったジェネラリストとして、文教施設企画・防災部のほか、省内の各部局や他省庁、教育委員会や国立大学、大使館勤務など、国内外で活躍。ソフト・ハード一体となった教育研究の推進に関して、政策の企画立案、関係者間の調整、施策実行までを担います。

(文部科学省におけるキャリアパスのイメージ)



文部科学省内でも、文教施設企画・防災部に限らず、様々な局課の幅広い業務を経験

他省庁や全国の教育委員会・国立大学への出向、海外の大使館・国際機関での勤務



文教施設企画・防災部のほか、省内で幅広く活躍



他省庁への出向や海外勤務

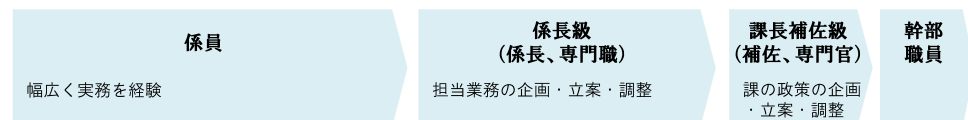


教育委員会や国立大学への出向

## 一般職 ～文教施設行政に精通し、現場の実務も担うスペシャリスト～

学校建築など文教施設行政に精通したスペシャリストとして、文部科学省文教施設企画・防災部を中心に省内の施設関係部局や、全国の国立大学施設部等で活躍。行政職としての業務のほか、建築の専門職として現場も経験しながら、全国的な施策展開や事業実施の実務を担います。

(文部科学省におけるキャリアパスのイメージ)



文部科学省内では、文教施設企画・防災部を中心に、省内の施設関係部局の業務を経験

全国の国立大学等への出向



文教施設企画・防災部を中心に活躍



省内他部局での活躍



国立大学への出向